



## 全数把握感染症

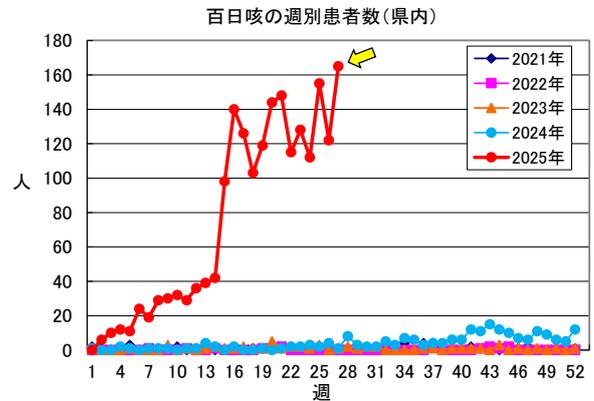
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 5人</b> (保健所：尼崎市1人、姫路市1人、西宮市1人、明石市1人、伊丹管内1人)
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 3人</b> (①神戸市；HUS；女性 80 歳代；O157 VT1VT2；感染地域：国内；感染経路：不明、②神戸市；有症者；女性 40 歳代；O26 VT 型不明；感染地域：ベトナム；感染経路：経口感染、③加古川保健所管内；無症状病原体保有者；男性 50 歳代；O168 VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：不明) (累積報告数 27 人；有症者 12 人、HUS 2 人)
4 類感染症	<b>重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 1人</b> (姫路市；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：接触感染及び動物・蚊・昆虫等からの感染) <b>レジオネラ症 2人</b> (①神戸市；ポンティアック熱型；男性 80 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明、②明石市；肺炎型；女性 70 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明)
5 類感染症	<b>カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1人</b> (尼崎市；男性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明) <b>侵襲性肺炎球菌感染症 2人</b> (①姫路市；男性 80 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無、②西宮市；男性 70 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明) <b>梅毒 8人</b> (①神戸市；早期顕症梅毒Ⅱ期；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；早期顕症梅毒Ⅱ期；女性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③尼崎市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 30 歳代；感染地域：国内；感染経路：性的接触、④尼崎市；早期顕症梅毒Ⅱ期；女性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑤姫路市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑥西宮市；早期顕症梅毒Ⅱ期；女性 20 歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、⑦伊丹保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 30 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：性的接触、⑧宝塚保健所管内；無症状病原体保有者；男性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触) <b>百日咳 165人</b> (保健所：神戸市 60 人、尼崎市 9 人、姫路市 22 人、西宮市 14 人、明石市 1 人、伊丹管内 7 人、宝塚管内 3 人、加古川管内 13 人、加東管内 23 人、龍野管内 5 人、赤穂管内 2 人、豊岡管内 1 人、朝来管内 1 人、丹波管内 2 人、洲本管内 2 人；性別：男性 95 人、女性 70 人；年齢群：0 歳 4 人 (ワクチン接種歴：3 回有(1 人)、2 回有(2 人)、1 回有(1 人))、3 歳 2 人 (ワクチン接種歴：4 回有)、5～9 歳 43 人 (ワクチン接種歴：4 回有(33 人)、3 回有(1 人)、不明(9 人))、10～14 歳 84 人 (ワクチン接種歴：4 回有(59 人)、3 回有(4 人)、不明(21 人))、15～19 歳 7 人 (ワクチン接種歴：4 回有(3 人)、3 回有(1 人)、無(1 人)、不明(2 人))、20 歳代 4 人 (ワクチン接種歴：不明)、40 歳代 8 人 (ワクチン接種歴：不明)、50 歳代 8 人 (ワクチン接種歴：無(3 人)、不明(5 人))、60 歳代 3 人 (ワクチン接種歴：不明)、70 歳以上 2 人 (ワクチン接種歴：不明) (累積報告数 1,994 人、うち病原遺伝子検出 1,467 人)
2025 年 26 週までに診断されたものの報告遅れ	<b>結核 1人</b> <b>レジオネラ症 1人</b>

## 百日咳

今週、**165人**の報告があり、今年の累積患者数 1,994 人の性別分布は、男性 1,025 人、女性 969 人、年齢分布は 10～14 歳が 46%、5～9 歳が 28%、15～19 歳が 8% の順で多く、20 歳以上は 14% となっています。

推定感染経路として家族内感染が 1,094 人、学校内流行が 360 人報告されています。

長期間続く咳が特徴ですが、ワクチン未接種の乳幼児が感染すると、嘔吐や無呼吸を伴い、重篤化しやすいので注意が必要です。また、乳児期にワクチン接種を受けていても、終生免疫は得られないので、成長後に感染することがあります。

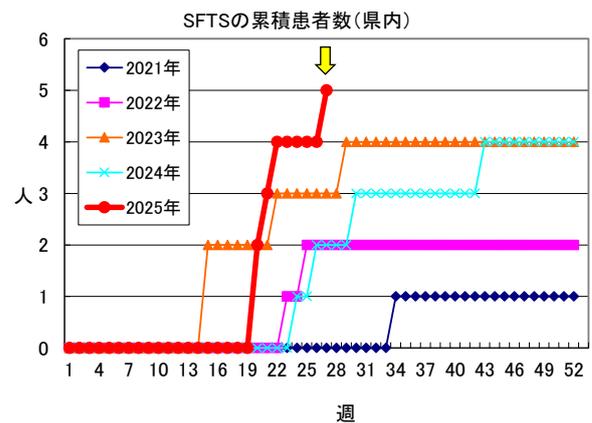


## 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

今週、**1人**の報告があり、今年の累積患者数は**5人**となりました。性別では、男性4人、女性1人、年齢階級別では、70歳代5人となっています。

重症熱性血小板減少症候群は、主に病原体を保有するマダニに咬まれることで感染します。SFTS ウイルスを病原とし、主な症状は原因不明の発熱、嘔吐、下痢などの消化器症状、血小板減少、白血球減少などが認められ、重症化すると死に至ることもあります。潜伏期間は6～14日で、治療薬はなく対症療法となっています。

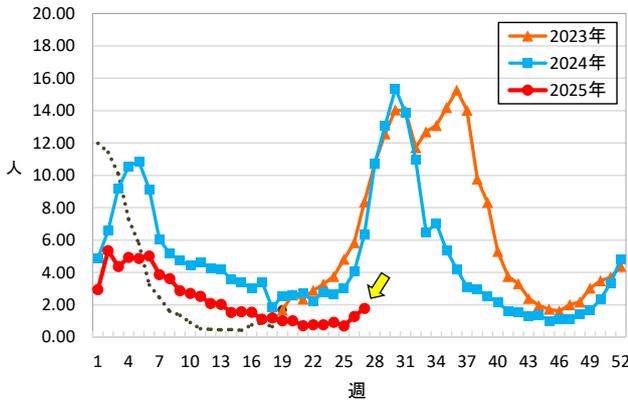
マダニの活動が活発となる春から秋にかけて、ハイキングや草むらに入るときは長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする、虫よけスプレーを活用する、帰宅後すぐに入浴し着替えるなどの予防対策が必要です。また、山野へ入った2週間以内に発熱や発疹が出た時はすぐに受診し、その時の行動を伝えることが重要です。



## 目で見る動向（県内）

## COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

COVID-19の定点あたり患者発生状況（県内）

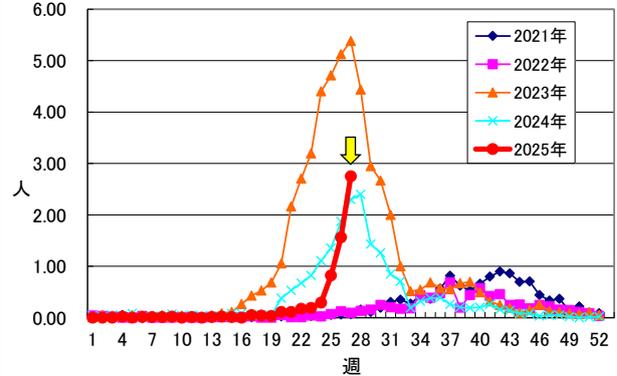


2023年18週以前の数値はHER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数（参考値）（国の提供データに基づく）

定点あたり患者数は今週 **1.78人**（先週 1.28人）と増加しました。  
 社会福祉施設等においては、今週 2件（先週 0件）の集団発生が報告されています。

## ヘルパンギーナ

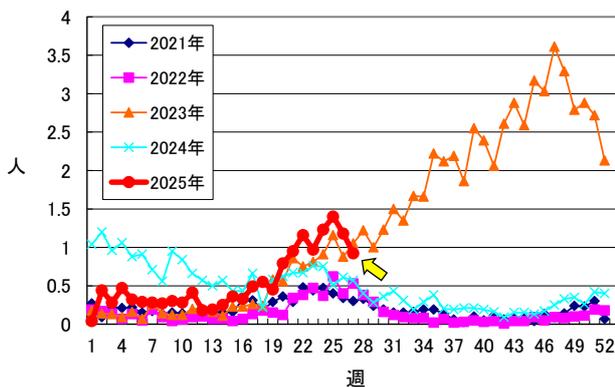
ヘルパンギーナの定点あたり患者発生状況（県内）



定点あたり患者数は今週 **2.75人**（先週 1.56人）と増加しました。  
 地域的には、加古川保健所管内で警報レベルとなっています。

## 咽頭結膜熱

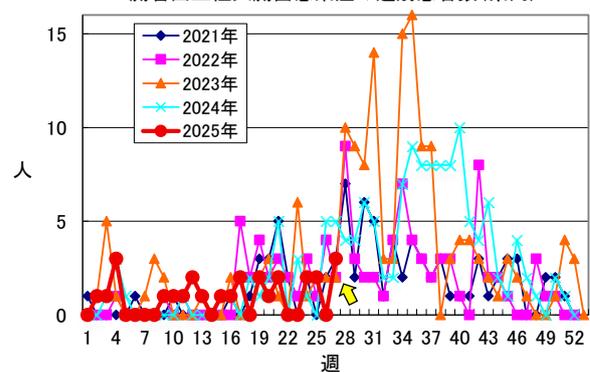
咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況（県内）



定点あたり患者数は今週 **0.92人**（先週 1.18人）と減少しました。  
 地域的には、神戸市及び伊丹保健所管内で警報レベルとなっています。

## 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の週別患者数（県内）



今週 **3人**の報告があり、今年の累積患者数は **27人**となりました。

この週報はホームページ（[https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho\\_jyoho/infectdis.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html)）にも掲載しています。

2022年4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <https://id-info.jihs.go.jp/> から国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトの週報（IDWR）がダウンロードできます。